

小金井市議会
主催

徹底議論
しましょう

議事進行！

誰でも
OK

来てね♪

ご意見を聞
かせて

市民と議会の 懇談会

熱いです

時間延長は
なしね

議会のあり方
(定数・報酬等)について

何人
顔知ってる？

19:00～20:30
場所：萌え木ホール

議長です

副議長です

なにこれ？

怖くない
ですよ

本日の進行について

- 19:00～ ①議長挨拶
- 19:03～ ②懇談会の意図説明
- 19:05～ ③市議会からの報告
- 19:25～ ④意見交換
- 20:05～ ⑤全体共有
- ⑥閉会挨拶

若干時間の前後
はご容赦ください





議長挨拶

議長 鈴木成夫

Shigeo Suzuki



意図説明

議会運営委員 白井亨

Toru Shirai

懇談会の意図について

議会運営委員会での議会改革として、「小金井市議会のあり方(定数・報酬等)」についての調査・協議を実施する、という提案

提案の意図

議員定数の削減のみを切り出して他市議会比較のみで語ることは不適切であるという指摘もあった

改めて、報酬等を含めた総合的な「議会のあり方」議論が必要である。
...そのためにも、市民からの意見も聴取しながら一定の課題や結論(結論自体は一致するとは限らないが)をまとめ、広く公表することが重要であるという考え方。

議会改革の提案書

提出日: 2021年6月19日
提案会派名: 小金井をおもしろくする会

議会改革のタイトル 「小金井市議会のあり方(定数・報酬等)」についての調査・協議を実施する

<提案内容を詳しく>

問題提起(現状の課題認識) 前任期から議会改革提案及び請願書などで「議員定数」についての議論を重ねてきた。結果はいずれも不一致、賛成少数となったことからそれらの提案は実現していないが、定数のみならず現状の小金井市議会の組織としてのあり方が必ずしも適切という根拠もまた明確にはないことも事実である。
議員定数の削減のみを切り出して他市議会比較のみで語ることは不適切であると指摘もしてきたが、ここで報酬等を含めた総合的な「議会のあり方」議論が必要である。市民からの意見も聴取しながら一定の課題や結論(結論自体は一致するとは限らないが)をまとめ、広く公表することが、今後の改革を進める上で必要なことではないか。

そのための解決策提案(提案内容を具体的に) <基本姿勢(案)>
・類似団体比較は資料として参考にすが、結論の根拠とはしない。
・議論は定数や報酬の削減ありきではない。
・議員の役割、あり方、「議員の仕事とは、使命とは何か」といった原点に立ち戻った議論が必要である。
・「小金井市議会議員の仕事」を市民に公開し、市民が望む「議員のあるべき姿」を聞き、適正な報酬、定数、(議会費全体)を協議・検討していくことが必要である。
<方法論(案)>
・最初に議論の範囲を協議する。
・無記名で全議員に実働時間、仕事内容、兼業の有無、適切と考える報酬、定数その他についてアンケートを実施する。
・先進市の取組及び視察、市民との意見交換を行う。
※場合によっては、学識者をスーパーバイザーとして迎え、進め方についてアドバイスをいただくことも検討する。

懇談会の意図について

この議論のためのスケジュール(ロードマップ)に沿って実態調査も実施し、今回の市民との意見交換を実施することになりました。

※このロードマップ自体は完全に全会派で合意している訳ではないが、進め方の目安として参照してきた経過がある。

議会のあり方 今後の取り組スケジュール(案)

2021年9月8日

項目			令和3年度(2021年度)							令和4年度(2022年度)											
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討のスキーム議論	方針の協議・確定	取り組み方針・ゴールの共有																			
	取組のための予算	議会としての予算要望提出																			
	協議の範囲①	定数/報酬/政務活動費																			
	協議の範囲②	活動の範囲の確認																			
	検討の仕方	WGの設置について																			
具体的な調査	実態調査	活動実態調査のやり方																			
		調査実施																			
		視察																			
机上調査	机上調査	集計・分析																			
		報酬審議会との関係性																			
市民との意見交換・意見聴取の取組	市民意向調査	他市議会調査(報酬/政務活動費)																			
		市民との意見交換会①																			
		市民との意見交換会②																			
		市民との意見交換会③																			
		公聴会																			
		調査のまとめ																			
市民への報告会																					

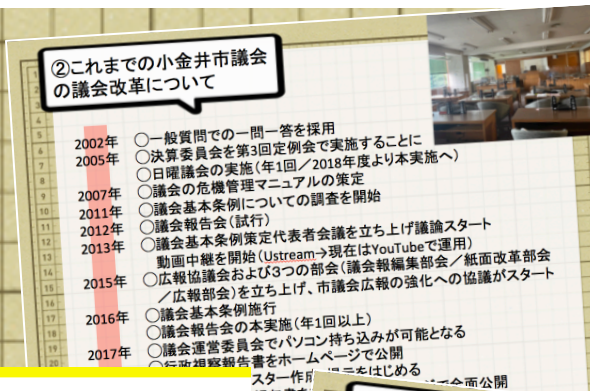
実態調査

意見交換

また、現在市議会に関する意向調査を実施しており、その周知も兼ねて実施することは効果的ではないかという意見もあり、このタイミングで意見交換(懇談会)を実施することになった。

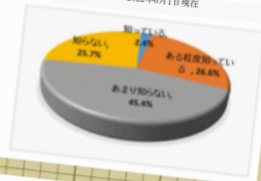
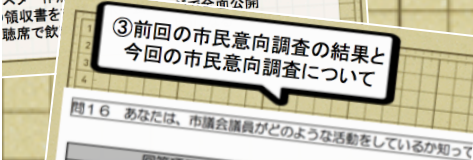
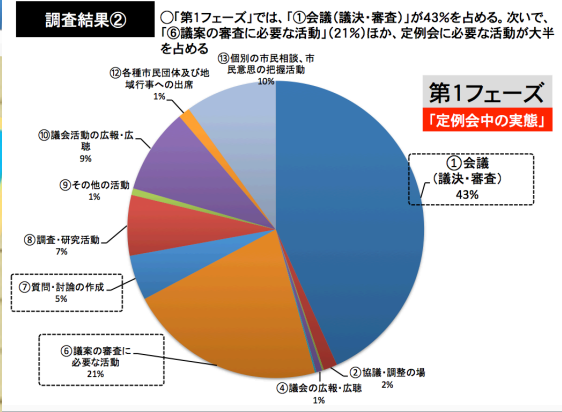
懇談会の意図について

議会のあり方(定数・報酬等)を考えるにあたり、主観のみならず客観的な情報をできるだけ皆さんに提示し、そのあり方を考えてもらい、ご意見をいただきたい。



多摩26市議会の比較について

市名	項目	人口(人) ※1	議会議長(人) ※2	議員の月額報酬(千円)	
小金井市	124,539	24	23	1	490
八王子市	561,457	40	38	2	610
立川市	185,201	28	28	0	555
武蔵野市	148,300	28	26	0	550
青梅市	190,296	28	26	0	530
府中市	130,762	24	23	1	530
昭島市	260,144	30	26	4	530
調布市	114,068	22	22	0	530
町田市	238,394	28	28	0	550
小平市	430,803	36	36	0	550
小川市	195,014	28	26	2	550
日野市	187,060	24	24	0	545
東村山市	151,666	26	26	0	485
国分寺市	128,011	22	22	0	470
国立市	76,278	21	21	0	447
福生市	56,193	19	17	2	465
東大和市	83,013	22	21	1	465
清瀬市	85,086	22	21	1	458
国分寺市	74,770	20	20	0	500
東大田市	117,006	22	21	1	480
武蔵村山市	71,615	20	20	0	435
多摩市	147,552	26	26	0	497
稲城市	93,033	22	22	0	445
羽村市	54,514	18	18	0	430
あきる野市	79,931	21	21	0	433
西東京市	205,726	26	27	1	517



「知らない」「あまり知らない」の合計が、71.1%

市議会と市議会議員の活動について、より市民のみなさんに伝える努力が求められることは明らか





市議会からの報告

議会運営委員長 水上洋志

Hiroshi Mizukami

ご報告内容



- ①市議会の役割について
- ②これまでの小金井市議会の議会改革について
- ③前回の市民意向調査の結果と
今回の市民意向調査について
- ④前期からの議員定数削減に関する議論について
- ⑤この間行なった議員実態調査について

①市議会の役割について

小金井市議会基本条例の前文

- 議会は合議制の議決機関であり、市長は独任制の執行機関
- 議会と市長は、それぞれが、二元代表制に基づき、対等な関係に立ち、互いの役割を発揮し、市民福祉を増進させる責務を負っている

議会にとって重要な役割は

多様な民意を持ち寄って、公開の場で効率的な議論を尽くすことにより、市長の行政執行及び市政の課題について、その論点を明らかにし、市民にとって最善の内容で意思決定を行うこと

これまで市民に開かれた議会、自由かつ達な質疑を保障する議会、少数会派の活動も認め合う議会を目指し、議会改革に努めてきました

議会は、市民の視点に立ちつつ、議会としての自律性を高め、執行機関を監視し、政策を立案する活動を、より充実強化しなければなりません。

求められていること

情報公開による説明責任、多様な意見をくみ取る努力、市民の負託に応えるための更なる自己研鑽

②これまでの小金井市議会の 議会改革について



- 2002年 ○一般質問での一問一答を採用
- 2005年 ○決算委員会を第3回定例会で実施することに
- 日曜議会の実施(年1回/2018年度より本実施へ)
- 2007年 ○議会の危機管理マニュアルの策定
- 2011年 ○議会基本条例についての調査を開始
- 2012年 ○議会報告会(試行)
- 2013年 ○議会基本条例策定代表者会議を立ち上げ議論スタート
○動画中継を開始(Ustream→現在はYouTubeで運用)
- 2015年 ○広報協議会および3つの部会(議会報編集部会/紙面改革部会
/広報部会)を立ち上げ、市議会広報の強化への協議がスタート
- 2016年 ○議会基本条例施行
- 議会報告会の本実施(年1回以上)
- 2017年 ○議会運営委員会でパソコン持ち込みが可能となる
- 行政視察報告書をホームページで公開
- 2018年 ○定例会告知ポスター作成・掲示をはじめ
- 政務活動費の領収書を市議会ホームページで全面公開
- 議場および傍聴席で飲料の摂取ができるようになる

③前回の市民意向調査の結果と 今回の市民意向調査について



[トップページ](#) > [市政](#) > [市議会](#) > [情報公開・調査報告](#) > [調査・アンケート](#) >

小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）の議会及び議員の活動に関する資料について（令和4年9月実施）

小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）の議会及び 議員の活動に関する資料について（令和4年9月実施）

更新日：2022年9月1日

小金井市議会では、「小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）」として、令和4年9月上旬から同年10月上旬まで、無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人の方を対象に郵送による方法で意見聴取を実施させていただいています。

調査にご協力いただくに当たり、議会や議員の活動の一端を掲載しましたので、ご参考にしていただければ幸いです。

調査・アンケート

> 小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）の議会及び議員の活動に関する資料について（令和4年9月実施）

> [市内小・中学生から寄せられた小金井市議会ガイドブックへのご意見・ご感想（アンケート結果集計）](#)

無作為抽出で
18歳以上の市民
2,000人を対象に
郵送で意見聴取
を実施

10月上旬まで

【参考】 前回（R2年度）調査

調査期間：令和2年9月上旬～令和2年9月下旬

調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法

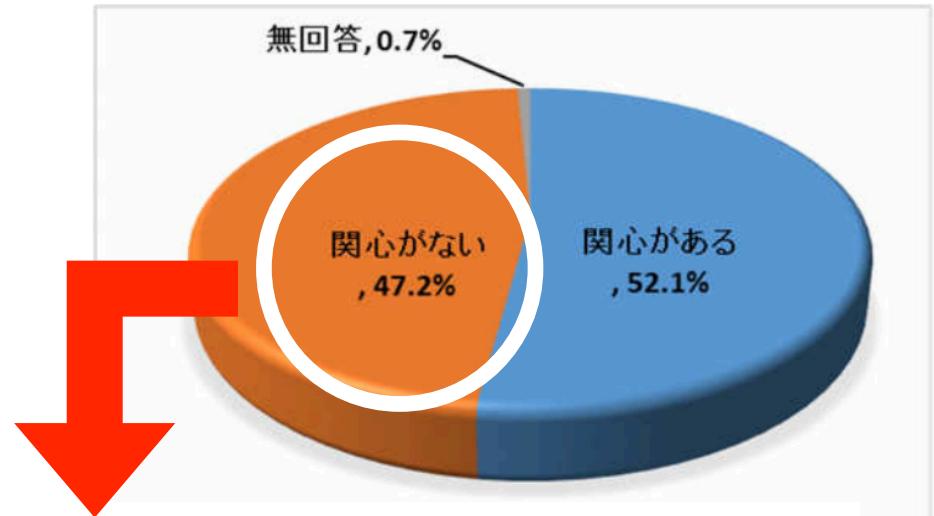
調査対象：無作為に抽出された18歳以上の市民2,000人

回収結果：545人（回収率27.3%）

③前回の市民意向調査の結果と 今回の市民意向調査について

問4 あなたは、市議会に関心がありますか？（1つだけ）

回答項目	割合 (%)
関心がある	52.1%
関心がない	47.2%
無回答	0.7%



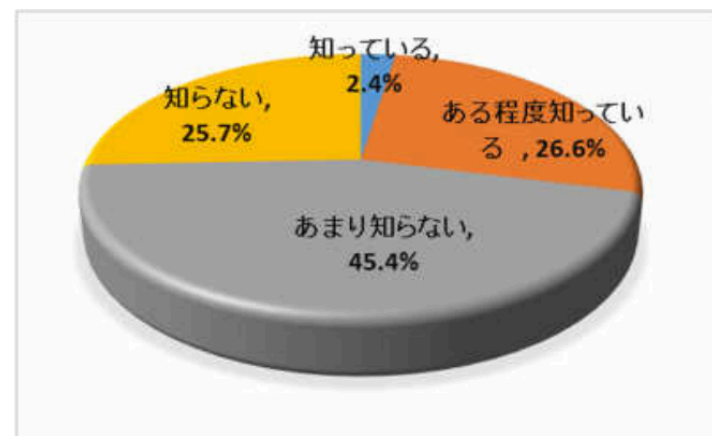
「関心が無い」とした方の理由として、一番多かったのは「何をしているのかよくわからない」39.7%

回答項目	割合 (%)
何をしているかわからない	39.7%
忙しくて考える余裕がない	19.0%
知っている議員がない	16.7%
市政に関心がないから	9.6%
生活にあまり関係がない	9.1%
その他(自由記述)	5.9%

③前回の市民意向調査の結果と 今回の市民意向調査について

問16 あなたは、市議会議員がどのような活動をしているか知っていますか？（1つだけ）

回答項目	割合 (%)
知っている	2.4%
ある程度知っている	26.6%
あまり知らない	45.4%
知らない	25.7%



「知らない」
「あまり知らない」
の合計が、71.1%

市議会と市議会議員の活動について、より市民のみなさんに伝える努力が求められることは明らか

③前回の市民意向調査の結果と 今回の市民意向調査について

問26 あなたは、市議会の役割として、何を期待しますか？（3つ回答可能）

回答項目	割合 (%)
住民意見の把握	18.7%
地域の課題解決	24.3%
行政のチェック	12.1%
定数・報酬の見直し	6.1%
政策立案	5.9%
清廉潔白	5.6%
資質向上／自己啓発	1.8%
潜在需要の掘り起こし	2.3%
住民意見の調整	5.1%
広報の充実・情報発信	3.4%
議論の活発化	1.5%
説得力・発言力	1.3%
リーダーシップ	2.6%
市民への説明	9.1%

期待されて
いること

1位「地域の課題解決」

24.3%

2位「住民意見の把握」

18.7%

3位「行政のチェック」

12.1%

③前回の市民意向調査の結果と 今回の市民意向調査について

問27 あなたは、市議会の改革が必要だと思いますか？（1つだけ）

回答項目	割合 (%)
必要である	24.7%
ある程度必要である	40.6%
必要でない	2.2%
わからない	32.5%

市議会の改革について
「必要である」、「ある程度必要である」

合計65.3%

どのような改革が必要か？

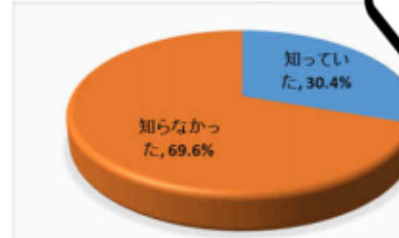
- 1位「市民の声が反映できるような議会報告会の開催や意向調査の実施」22.9%、
- 2位「政策提言機能の強化（議会から行政への提案能力）」18.2%
- 3位「議員定数・議員報酬の検討」17.6%

回答項目	割合 (%)
議会審査機能の向上 （行政運営のチェック機能）	16.1%
政策提言機能の強化 （議会から行政への提案能力）	18.2%
議会基本条例の検証	2.1%
休日や夜間に本会議がある 傍聴しやすい議会	4.9%
市民の声が反映できるような議会報告会の開催や意向調査の実施	22.9%
インターネット中継のさらなる改善	4.7%
市議会ホームページの充実	2.9%
「市議会だより」の充実	6.8%
議員定数・議員報酬の検討	17.6%
その他（自由記述）	3.8%

③前回の市民意向調査の結果と 今回の市民意向調査について

問21 あなたは、市議会議員の定数が24人であることを 知っていますか？ (1つだけ)

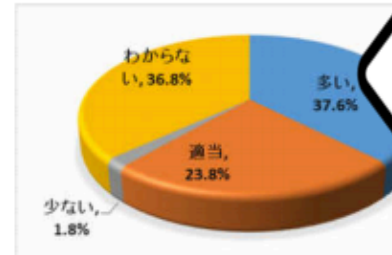
回答項目	割合 (%)
知っていた	30.4%
知らなかった	69.6%



○市議会議員の定数が24人であること
「知っていた」30.4%
「知らなかった」69.6%

問22 あなたは、市議会議員の定数について、どのように感じますか？ (1つだけ)

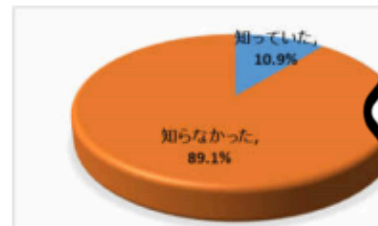
回答項目	割合 (%)
多い	37.6%
適当	23.8%
少ない	1.8%
わからない	36.8%



○市議会議員の定数は
「多い」37.6%
「適当」23.8%
「少ない」1.8%
「わからない」36.8%

問23 あなたは、市議会議員の報酬が、月額49万円であることを知っていますか？ (1つだけ)

回答項目	割合 (%)
知っていた	10.9%
知らなかった	89.1%



○市議会議員の報酬は
「高い」39.1%
「適当」28.2%
「低い」4.1%
「わからない」28.6%

③前回の市民意向調査の結果と 今回の市民意向調査について



トップページ > 市政 > 市議会 > 情報公開・調査報告 > 調査・アンケート >

小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）の議会及び議員の活動に関する資料について（令和4年9月実施）

小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）の議会及び議員の活動に関する資料について（令和4年9月実施）

更新日：2022年9月1日

小金井市議会では、「小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）」として、令和4年9月上旬から同年10月上旬まで、無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人の方々を対象に郵送による方法で意見聴取を実施させていただいています。

調査にご協力いただくに当たり、議会や議員の活動の一端を掲載しましたので、ご参考にしていただければ幸いです。

調査・アンケート

> 小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）の議会及び議員の活動に関する資料について（令和4年9月実施）

> [市内小・中学生から寄せられた小金井市議会ガイドブックへのご意見・ご感想（アンケート結果集計）](#)

多摩26市議会の比較について

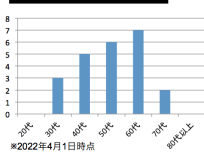
市名	人口(人)※1	議会構成(人)※2			議員の月額報酬(千円)
		条例定数	現員数	欠員	
小金井市	124,539	24	23	1	490
八王子市	561,457	40	38	2	610
立川市	185,201	28	28	0	555
武蔵野市	148,300	26	26	0	550
三鷹市	190,295	28	28	0	550
青梅市	130,762	24	23	1	530
府中市	260,144	30	26	4	550
昭島市	114,068	22	22	0	530
調布市	238,394	28	28	0	550
町田市	430,803	36	36	0	550
小平市	195,014	28	26	2	550
日野市	187,060	24	24	0	545
東村山市	151,666	25	25	0	485
国分寺市	128,011	22	22	0	470
国立市	76,278	21	21	0	490
福生市	56,193	19	17	2	447
狛江市	83,013	22	21	1	465
東大和市	85,086	22	21	1	458
清瀬市	74,770	20	20	0	500
東久留米市	117,006	22	21	1	480
武蔵村山市	71,615	20	20	0	435
多摩市	147,552	26	26	0	497
稲城市	93,033	22	22	0	445
羽村市	54,514	18	18	0	430
あきる野市	79,931	21	21	0	433
西東京市	205,726	28	27	1	517

※1 2022年4月1日現在

※2 2022年6月1日現在

小金井市議会の多様性について 2022年度

○年代別割合



○女性議員割合

39.13%
※23人中9人

○子育て中の議員

5人
※18歳未満の子ども <任意回答>

○会派数

11会派

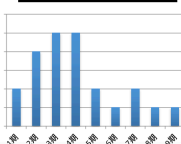
○障がい者

1人
※身体障害者手帳保持

○平均年齢

58.3歳
※2022年4月1日時点

○期数



市議会HP
「情報公開・調査報告」
→「調査・アンケート」
から閲覧できます

③前回の市民意向調査の結果と
今回の市民意向調査について

現在、「市議会の議員定数に関する陳情書」が継続審査中となっています。

また、議会改革「『議会のあり方(定数・報酬等)』についての調査・協議を実施する」を合せて協議中です。

今回の市民意向調査は、この審査・協議に関しての一つの資料として活用したいと考えています。

④前期からの議員定数削減に関する議論について

現在小金井市議会の定数は24名。1999年(平成11年)第2回定例会で議員案「小金井市議会議員定数条例の一部を改正する条例」が賛成多数で可決したことにより、25名から24名となり現在に至る。

議員定数に関しては、2001年(平成21年)以来2021年(令和2年)4月までの間、議改革の協議として4回、陳情書3件、請願書2件が提出され、4回の議員提案による定数削減の提案が行なわれてきました。

いずれも、議会改革は不一致、陳情・請願は、2012年(平成24年)に公聴会が開催され、不採択または審議未了、議員提案は否決、2020年(令和2年)12月に提案された、議員案議員定数条例の一部を改正する条例は任期満了により廃案

削減の「賛成」の意見

類似団体3市(昭島市・国分寺市・東久留米市)が22名であることを踏まえて24名を22名とすることや定数削減による財政効果を市民生活に活用するなど

削減に「反対」の意見

民意の反映が少なくなる、他市比較や財政効果だけで削減はおかしいなどです。議会のあり方からあるべき定数を検討すべき、議員の仕事を「棚卸し」して定数及び報酬について議論すべきなどの意見も

議員定数の協議等の経過について

会 議	案 件 名 等	結 果	
		上程日等	議決日等
本 会 議	議員案第51号 小金井市議会議員定数条例の一部を改正する条例 【提案理由】「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」が公布されたことに伴うもの	H13.11.30 即 決	H13.11.30 原案可決(簡易)
議会運営委員会	議 会 改 革 21-19議員定数削減(協議期間:H21.8.4~H23.2.24) 【提案内容】偶数単位で削減する。最低2名	【協議結果】申し送り	
	協議期間:H23.7.7~H23.9.7 20名とする。(4人削減) る陳情書	【協議結果】不一致	
	一部を改正する条例 5分寺市・東久留米市)のうち、2市が22人にする。	H23.9.7 議運付託	H24.6.25 不採択
	議員定数の削減を求める 陳情書の審査)	H24.6.25 即 決	H24.6.25 否 決
		H24.5.18 H24.5.29	公述人決定 開 催
		議運付託	不採択
		R2.12.21 議運付託	R3.3.5 継続審査 (任期満了により廃案)

⑤この間行なった 議員実態調査について

全議員対象

小金井市議会議員の実態調査について

調査のまとめ

期間

【第1フェーズ】
「定例会中の実態」

3/3(木)▶3/9(水)

【第2フェーズ】
「閉会中」の実態

4/14(木)▶4/20(水)

<背景>

提案

「小金井市議会のあり方(定数・報酬等)」についての調査・協議を実施する

<基本姿勢(案)>

- ①類似団体比較は資料として参考にするが、結論の根拠とはしない。
- ②議論は定数や報酬の削減ありきではない。
- ③議員の役割、あり方、「議員の仕事とは、使命とは何か」といった原点に立ち戻った議論が必要である。
- ④「小金井市議会議員の仕事」を市民に公開し、市民の意見を聴く。
- ⑤これらを踏まえて報酬、定数を協議・検討していく。

調査項目一覧

①会議（議決・審査）

本会議
 常任委員会
 予算・決算特別委員会
 臨時議会
 特別委員会(庁福・行革)
 議会運営委員会

②協議・調整の場

会派代表者会議
 会派会議
 全員協議会
 四者協議・正副委員長打ち合わせ

③その他の役職による公務

一部事務組合議会に属するもの
 監査委員
 正副議長公務

④議会の広報・広聴

広報協議会
 広報部会・紙面改革部会
 議会報編集部会
 議会報原稿作成・校正
 議会報告会実行委員会
 議会報告会
 議会報告会チラシ・街頭宣伝
 会派協議

⑤政策・条例の立案

条例立案
 意見書・決議の調整
 予算要望
 会派協議

⑥議案の審査に必要な活動

議案説明
 職員へのヒアリング
 議案の精読
 各種審議会の傍聴
 会派協議
 他委員会の傍聴

⑦質問・討論の作成

質問・討論の作成
 ヒアリング・調査研究
 会派協議

⑧調査・研究活動

委員会視察
 会派視察・個人視察
 議員研修
 各種研修・勉強会
 その他資料精読・検索等を含めた調査活動

⑨その他の活動

市への要望・調整（日常的な事案）
 各種審議会委員に属するもの

⑩議会活動の広報・広聴

レポートの作成・配布
 議会&市政報告・意見交換会
 街頭演説
 インターネット・SNS配信

⑪公的行事への出席

市及び教育委員会主催行事への議員としての出席

⑫各種市民団体及び地域行事への出席

各種市民団体主催行事・総会・意見交換会への議員としての出席

⑬個別の市民相談、市民意思の把握活動

個別の市民相談、市民との意見交換

⑭地域活動

地域活動、各種市民団体活動への参加

⑮政党活動・政治団体活動・政治活動

政党活動・政治団体活動・政治活動

全体集計の中には、この2項目は含めない

調査結果①

○「第1フェーズ」のほうが、「第2フェーズ」よりも、活動時間数が長い
 ※「第1フェーズ」は令和4年第1回定例会中、「第2フェーズ」は閉会中の期間として設定した

第1フェーズ						
3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9
217	196.5	90.9	91.5	135	142	220
1092.9						

1週間の稼働時間 (h)

23人平均 **47.5h** 最大値
72.5h
最小値
28.0h

1日あたり稼働時間(h)

7日間平均として **6.8h** 5日間平均として **9.5h**
 $47.5h \div 7day = 6.8h$ $47.5h \div 5day = 9.5h$

参考
※1

- ⑭ 地域活動
...86.5h → [23人平均] 3.8h → [1日あたり] 0.5h
- ⑮ 政党活動・政治団体活動・政治活動
...117h → [23人平均] 5.1h → [1日あたり] 0.7h

第2フェーズ						
4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20
93	98	75.5	67.5	90	151.2	161
736.2						

1週間の稼働時間 (h)

23人平均 **32.0h** 最大値
59.0h
最小値
6.0h

1日あたり稼働時間(h)

7日間平均として **4.6h** 5日間平均として **6.4h**
 $32.0h \div 7day = 4.6h$ $32.0h \div 5day = 6.4h$

参考
※1

- ⑭ 地域活動
...149.5h → [23人平均] 6.5h → [1日あたり] 0.9h
- ⑮ 政党活動・政治団体活動・政治活動
...176h → [23人平均] 7.7h → [1日あたり] 1.1h

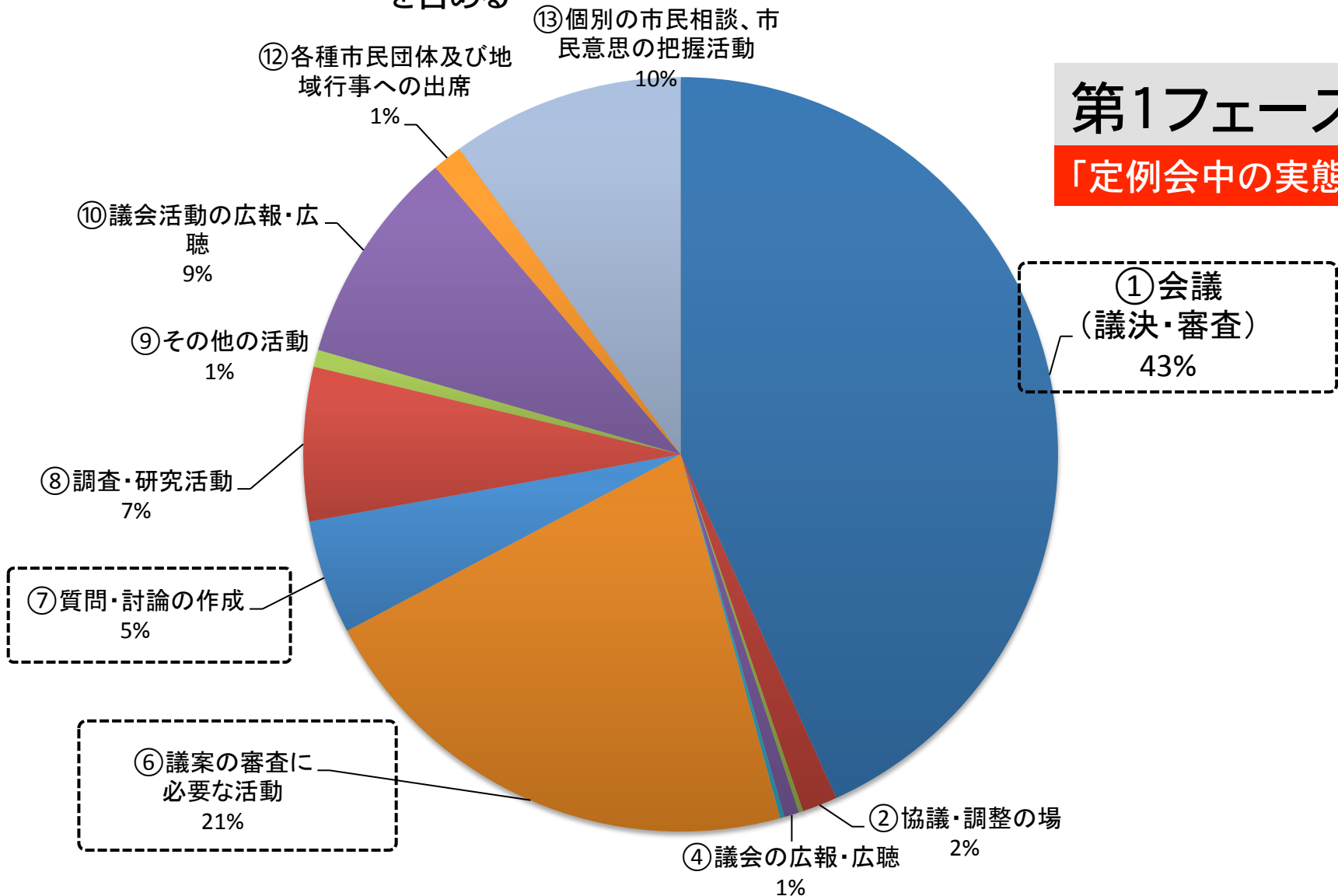
※1 上記全体集計の中には、下記の2項目は含めないため別掲（議会運営委員会で確認済み）

- ⑭ 地域活動（地域活動、各種市民団体活動への参加）
- ⑮ 政党活動・政治団体活動・政治活動

調査結果②

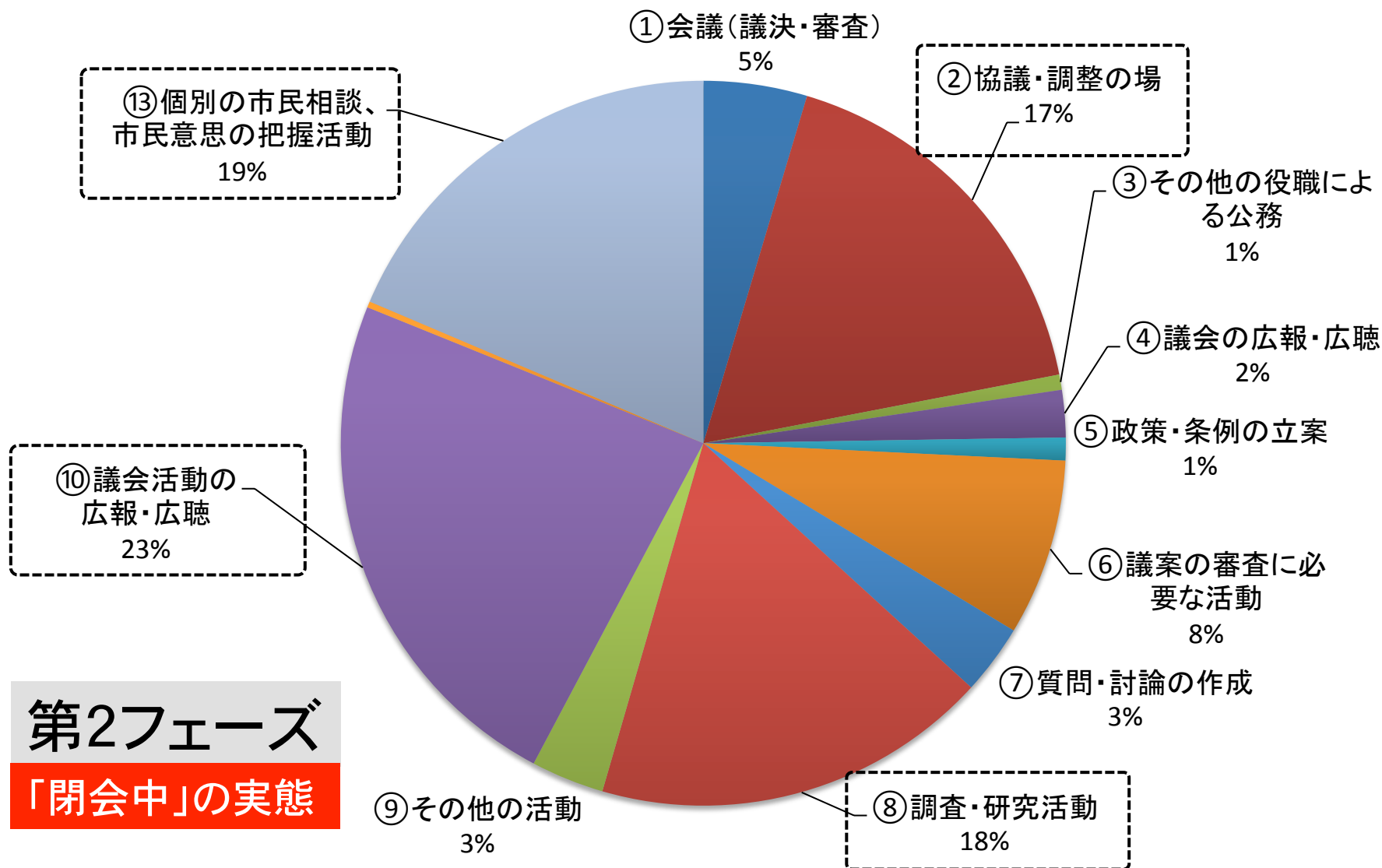
○「第1フェーズ」では、「①会議(議決・審査)」が43%を占める。次いで、「⑥議案の審査に必要な活動」(21%)ほか、定例会に必要な活動が大半を占める

第1フェーズ 「定例会中の実態」



調査結果③

○「第2フェーズ」では、「⑩議会活動の広報・広聴」(23%)が最も多く、次いで「⑬個別の市民相談、市民意思の把握活動」(19%)、「⑧調査・研究活動」(18%)、「②協議・調整の場」(17%)の順となっている。



第2フェーズ

「閉会中」の実態

調査結果④

○曜日ごとの活動量を比べてみると、土日は他の平日よりも活動時間が短い。※逆にいえば、土日も関係なく何らかの活動が必要となっている実態があるといえる。

<曜日ごとの活動量の違い>

第1フェーズ							
3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	合計
木	金	土	日	月	火	水	
217	196.5	90.9	91.5	135	142	220	1092.9

平日5日間の平均時間182.1hと比較して、約50%の活動が土日にもある

第2フェーズ							
4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	合計
木	金	土	日	月	火	水	
93	98	75.5	67.5	90	151.2	161	736.2

平日5日間の平均時間118.6hと比較して、約57～64%の活動が土日にもある

市議会議員がなにをやっているのかよくわからないという声がありますが、それぞれ、土日も関係なく活動していることが浮き彫りになったといえる。

意見交換タイム [45分間]

①市議会に期待すること

②それを実現するための議会の
あり方（定数・報酬等の視点から）



全体共有



副議長挨拶

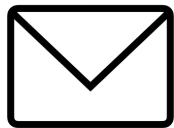
副議長 遠藤百合子

Yuriko Endo

本日はご参加
ありがとうございました。

ご質問等

小金井市議会事務局へ
メール or FAX にてお寄せください。



g020199@koganei-shi.jp



042-387-1225

